

所信

丸野内真理子

はじめに

「秋田には何もない」という言葉をよく聞きます。確かにこの秋田を取り巻く社会情勢はそれほど明るくなく、国の政策も地方には十分に浸透せず、少子化や人口減少が止まらず、このままでは 23 年後の 2040 年には消滅可能性都市の上位に挙げられているように、閉塞感を感じるような未来が想定されます。

しかし過去を振り返ってみれば、いつの時代も未来はそのように言われてきています。「これから先は混迷の時代、不透明の時代」と。それは未来には不安も希望もあるからなのではないでしょうか。

私たちが住み暮らす秋田には四季を満喫できる豊かな自然環境、そのような豊かな土壌で育まれた食べ物、温かな人柄、登録件数日本一を誇る重要無形民俗文化財に代表されるまつりなど、多くの魅力があるのです。何もないわけではないのです。

「何もない」という無責任な言葉を使うのではなく、真摯に現実に向き合い、混沌とした現在から明るい未来へ切り拓くことが私たち青年会議所の使命です。先輩諸兄から連綿と紡いできた秋田青年会議所としての伝統と熱い想いを胸に、凜とした心でしなやかに行動していこうではありませんか。

子どもたちに生き抜く力を

現代社会にははじめ問題や生命を軽視するような行動が社会的な問題になりつつあり、子どもが犠牲になる事件も多発しています。生活のスピードも速くなり、変化の激しいこれからの社会を、子どもたちは自分の力で生き抜いていかななくてはなりません。親である私たちが過保護や過干渉になりすぎると、子どもたちは自分で決断する力を持たず、社会に出てからの適応能力が育ちません。それを防ぐためにも子どもたちに現代社会を生き抜く力をつけさせることが、私たち責任世代の責務であると考えます。

風光明媚なあきたの環境の存続

あきたには四季折々様々な表情を見せる風光明媚な自然があり、私たちはこの自然の中で生かされているからこそ、豊かな感受性や生命を尊重する精神や優しさや思いやりの心が育まれているのです。この豊かな自然環境を甘んじて享受するだけではなく、恵まれていることに感謝し、今あるものを大切にすることを育み、愛すべきこの誇れる自然を子どもたちの未来へと遺します。

あきたの誇りの醸成

あきたには厳しい自然環境で暮らしてきた歴史と伝統の中から生まれ、調和の心を重んじ大切に守り伝えられ、人々の日常生活の中で定着している文化が数多く存在します。それ

は私たちの心を豊かにするものであり、誇り高き尊い財産でもあります。この培われてきた財産を、世代を超えて地域への誇りとして醸成させ、あきたに生きる人々の豊かな人間性を涵養するように継承していきます。

#### あきたの地域力を多くの方に

2011 年度から秋田醸しまつりは市民社会資本の構築を目指して始まり、人と人のつながりは地域に根付き、そして秋田県の優れた発酵醸造文化とともにあきたの魅力として県内外に発信されてきました。7年目を迎えるにあたり、築き上げてきたつながりを強固なものとし、多くの市民が発酵醸造文化を学ぶことにより知識を深め、今後の発展を見据えた地域力の向上を目指します。

#### 創立 65 周年を迎えるにあたって

1952 年 4 月 16 日秋田青年会議所は、青年の英知と勇気と情熱を結集させ、地域社会の健全な発展に貢献することで明るい社会の実現を図ることを目的とし発足しました。卒業された多くの先輩諸兄は、戦後の混乱期、高度経済成長期、バブル崩壊、東日本大震災をはじめとする大きな災害と様々な時代や困難もこのあきたのために行動し、乗り越えて私たちにバトンをつないでくださいました。その歴史と熱い想いに感謝し、伝統を守りながら地域から信頼される組織として公益性の高い事業を行い、積極的な広報活動により多くの事業を発信することで、青年会議所運動に賛同し共に邁進できる会員を拡大します。

#### 結びに

さほど遠くない 5 年後、10 年後のあきたをどう思い浮かべるでしょうか。私は、今と変わらず四季折々の表情を見せる自然の中で子どもたちがのびのび遊び、心の平穏を感じる人々が生きている社会を想像します。

2017 年、公益社団法人秋田青年会議所は創立 65 周年を迎えます。65 年というこの長い歴史の中で多くの先輩諸兄がこのあきたを「明るい豊かな社会」にするべく邁進し、様々な事業を展開し、脈々とその熱い想いを紡いできました。それは一人の力ではなく、意見をぶつけ合い心を通わせた仲間が存在があったからこそ成しえたことなのです。

「大切なのはどの道を選ぶかより、選んだ道をどう生きるか」という言葉があります。青年会議所は様々な機会を提供してくれます。この機会を活かし如何に行動するか、それは自分でしか決められません。どんな未来にしたいのか、どんなあきたを子どもたちに遺したいのか、いつも自分に問いかけながら、奉仕・修練・友情の三信条のもと、熱い想いと凜とした心でしなやかに行動し、明るい豊かな社会の実現を目指します。